

【開講日】 令和元年8月30日（金）

三鷹サテライト教室

文化

三鷹

311042n

【連続講座】 歴代天皇の足跡をたどる

# 明治天皇の宮殿

— 近代宮殿の建設経緯とその相貌 —

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「歴代天皇の足跡をたどる」全14講座お申し込みの場合20,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	金曜日		日程	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全1回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	元大正大学教授・元宮内庁書陵部編修課勤務 <b>堀口 修</b> （ほりぐち おさむ）				
	1949年東京生まれ。中央大学大学院文学研究科史学専攻博士課程満期退学。博士（史学）。宮内庁書陵部編修課を経て2011年4月から2016年3月まで大正大学文学部歴史学科教授。専門は日本近現代史。『明治立憲君主制とシュタイン講義—天皇、政府、議会をめぐる論議—』（慈学社出版、2007）、『宮内省の公文書類と図書に関する基礎的研究』（創泉堂出版、2011年）、『金子堅太郎と国際公法会—日本の条約改正問題と国際社会—』（創泉堂出版、2013年）、『関東大震災と皇室・宮内省』（創泉堂出版、2014年）、「明治天皇紀」編修と金子堅太郎（『日本歴史』第661号、2003年）、「昭和大礼記録」の編纂について（『明治聖徳記念学会紀要』復刊53号、2016年）、ほか。				
内容	明治21年10月、明治天皇の新しい宮殿が完成する。実は、明治6年、旧西の丸御殿が焼失したため、以後、新しい宮殿の建築が検討され、一部工事も行われましたが、場所、建築様式、構法、内部構造・装飾などの問題で、いろいろな意見が生じ、また地盤の安全性など種々困難もあり完成まで紆余曲折を経ました。しかし、そうした困難を乗り越えて宮殿が完成したのです。 明治宮殿は、着工から4年余の時間をかけて造営された木造建築。宏大な規模を誇り、和風の伝統様式を基本としつつも、構法や装飾などに洋風を一部取り入れた和洋折衷の建物でした。明治22年2月11日、宮殿・正殿で举行された明治憲法の発布式典は、その歴史上、最も華やかなものでした。宮殿は、50数年間にわたり政治の場として、皇室並びに国家の重要な儀式が行われました。他方、天皇・皇后の日常生活を支えた場でもありました。そうした意味から宮殿が持つ役割には大きなものがあったといえましょう。 そこで本講義ではまず最初に、明治宮殿の完成までの経緯を辿ると共に、各段階の造営論の特色を明らかにします。つぎに宮殿の構造、各室の装飾・機能（使用目的）を写真・絵図などを用いて具体的に紹介します。				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00  
：土曜日 9:30～15:30（祝日を除く）

武蔵野大学 生涯学習事業課

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

**三鷹三菱ビル 6・7 F**  
(三菱UFJ銀行のビル)

東京都三鷹市下連雀3-26-12

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。